

私が感動した 構造美と建築美



奥津温泉
アルストロメリアホール



東京
スカイツリー



大山山麓
植田正治写真美術館

最近出会った建築物などで私が感動したものをご紹介します。一番左が奥津温泉花美人の里「アルストロメリアホール」という木造の小規模なホールです。8月に楽器演奏で行ったのですが、松の集成材を柔らかなR状にした骨組の構造美にビックリしました。天井は高く骨組みに包まれるような空間に金管楽器の音が優しく響く素晴らしいホールでした。真中は皆さんご存知、東京スカイツリーです。夏に出張で行った折に屋形船から見たもので、川から見ると障害物が何もなく、この建造物の柔らかな美しさがライトアップによってより美しく、しばらく見とれてしまいました。右の写真は、大山の麓にある植田正治写真美術館。設計は世界的建築家の高松伸氏の作品。10月の連休に行ったのですが、この日は本当に天気が良く、青い空と建造物のコントラストがとてもきれいでした。出張などで色んな所へ出掛けますが、仕事柄「美しいものを見る目」を持たなくてはと「自戒」の気持ちも込めてご紹介させていただきました。(啓)

近況報告

早いもので、新体制になって半年も過ぎ、皆お陰様で元気に忙しく飛び回っております。まずは廿日市店。工務担当となった竹内常務は本社の雑務から解放され、大好きな現場に入りびたりとは行かず、還暦前の老体を鞭打って修理サービスにも太田君と東奔西走。事務の山中さんは、ゆめタウン廿日市ができたからか、お支払いにゆめカードを持って来られる方が増えてきたとか。宮本店長は休みは子供の少年野球に忙殺。今しかできんからがんばりんさいとは思うものの、大変です。

次は大竹店。新入社員の中谷君は、早朝7時ごろから現場の準備に出勤！感心です！本社の工務担当となった河野(大)君は、担当現場が多すぎて頭がクラクラ~だとか。本社の営業を一手に担っている西村店長。処理の速さに磨きがかかり「急ぐ仕事は忙しい人に頼むべし」を実践中！サービス担当の里さん「鼻かぜで調子が悪いのう」と言いつつも、休むことなく頑張ってくれてます。事務の河野(育)さんは太極拳に磨きがかかり、向井さんも元気に頑張っております！！

最後になりますが、**年内の営業は12月28日(木)まで、新年は1月5日(金)より営業いたします。**来年もどうぞよろしくお祈りいたします。

「住いの困った」は ゲインンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は来年2月の予定です。(啓)
*尚、この「住みいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。

いつもお世話になっている皆様へ。



住みいる通信

H29.12



みなさんこんにちは！秋の紅葉のシーズンも終わり、いよいよ寒い冬の到来となりましたが、お変わりございませんでしょうか？

上の写真は10月に完成したLDKをリフォームさせていただいた写真です。奥様がかねてからキッチンのリフォームを希望されていて、仕事をリタイヤされたことを機にリフォームをさせていただきました。今回採用されたキッチンはTOTO製のフラット対面型のキッチンですが、広島ショールームに行かれた時に一目で気に入られたとか。インテリアは既存の和風のテイストに合うように担当の西村店長がお客様のご希望を聞きまとめさせていただきましたが、いかがでしょうか？私も完成時に現場を確認にお邪魔させていただきましたが、ウッディな室内に、真壁に塗っている白い珪藻土と真っ白なキッチンが一体化して、とても落ち着いた素敵なキッチンに出来上がっていました。



河野



さて、私の趣味の事ですが、60歳になり「あと何年楽器を吹けるかなあ〜、もう少し吹きたいなあ〜」なんて思っていたら、「河野さん小人数の演奏やりませんか？」とお声掛けをいただき、8月に岡山・11月に広島での演奏会に参加させていただきました。メンバーは元広島交響楽団の方がリーダーで、音楽大学の学生など上手な方ばかりの中でしたので、皆さんの足を引っ張らないようにと大いに刺激を受けることができました。この年になって体力も感性も劣ってしまい、演奏が上手になることはありませんが、音楽を楽しむ気持ちだけは膨らんできているようです。どうやら演奏技術のピークの後に音楽性のピークが来るらしいので、それに期待して楽しみたいと思います。12月の演奏会ではソロを吹きますので演奏技術はさておき、音楽をしっかりと楽しみたいと思います。

今年も余すところあと僅かとなりました、皆様方には本年も格別なるお引き立てを賜りましたこと、本文にて誠に失礼かと存じますが、厚く御礼申し上げます。尚、寒さが日に日に厳しくなりますので、風邪など引かれぬようくれぐれもお気を付け下さい。(啓)

今回のテーマは
「インフルエンザの発生を抑制する木の力?!」



ヒノキ フローリング・パネリングを使用した幼稚園

今年も、そろそろインフルエンザが流行する季節が近づいてきました。そこで、今回のテーマは「インフルエンザの発生を抑制する木の力」についてです。

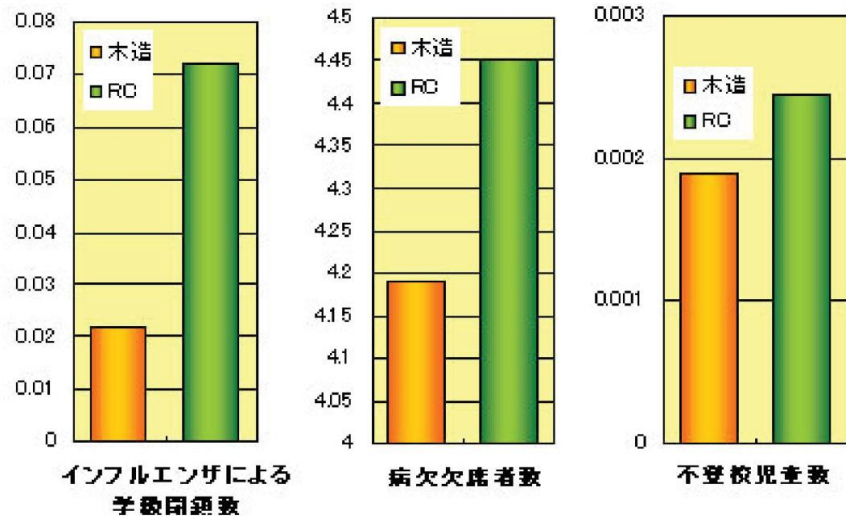
木造校舎とRC校舎とで、児童のインフルエンザによる学級閉鎖数を比較したところ、木造校舎はコンクリート校舎の約1/3という調査結果があります（下グラフ参照）。

なぜこのような大きな差が生まれるのでしょうか。それは、木材には、コンクリートやプラスチックにはない“調湿作用”があるからです。インフルエンザウィルスは、気温が低く、空気が乾燥している環境では長期間生存し続けますが、湿度が50%以上になるとウィルスの多くが死滅してしまいます。部屋が乾燥している状態では、木材中の水分を吐き出し、湿度が多いときには、余分な湿気を吸収する木材は、湿度を快適な状態に保つ効果をもっているため、木造校舎ではインフルエンザの感染が減ったと考えられます。

また、その他の病欠や不登校が少ないことの原因についても、木の香りや調湿作用などが心と身体に安らぎを与えているためではないかといえるでしょう。

ちなみに、老人ホームを対象に行われた同様の調査においても木材使用率の多い施設では、インフルエンザの感染や転倒による骨折、不眠を訴える人の割合が少ないという結果も出ています。

1学級当たりの割合(%)



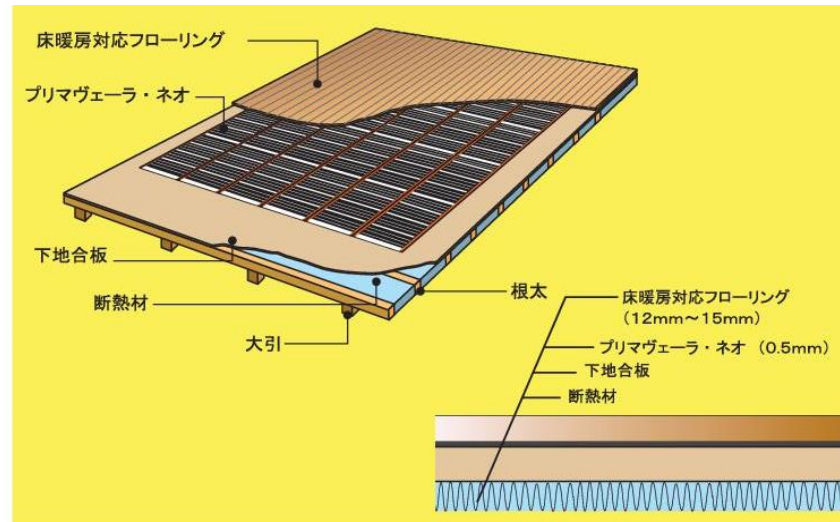
児童の欠席理由 アンケート調査

上記のように、木の調湿作用がインフルエンザの発生を抑制する効果があるということは、調湿作用のある建材は同様の効果があるということになりますので、比較的抵抗力の弱い幼児や高齢者の居室には無垢材や塗り壁といった調湿性能の高い建材がお勧めということですね！（啓）

近年採用が増えている
”快適！！”電気式床暖房について

季節は冬へと移ろい、暖房が必要な季節となってきました。暖房設備の中で最近弊社のリフォームにおいて採用が増えてきているのが「電気式床暖房」です。この住まいの通信の施工事例でも紹介させていただいたこともありますが、この床暖房の良さを紹介させていただきたいと思います。

床暖房の良さは何と言ってもエアコンのように空気を温めるのではなく、床からの輻射熱でポカポカした暖かさを得ることです。勿論火も使いませんし、空気も汚しません。デメリットとすれば、暖くなるまでの立ち上がり時間がかかること（とは言え15分程度です）、一番寒い時期に断熱性能の低い建物では床暖房だけでは十分な暖房ができないということです。ですので、リフォームの際には、その部屋の断熱改修もかねて行うこととなります。それではリフォームではどのような施工を行うか、弊社が採用している電気式床暖房をご紹介します！

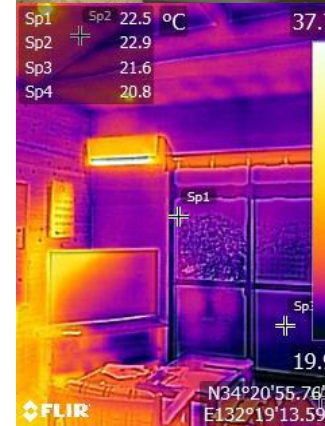


左の図のように、下から、断熱材・下地合板(リフォームの場合は現状の床材)・床暖房シート・床暖房対応フローリングの順で施工します。ここでポイントなのが床下の断熱材です。この断熱材を施工しないで床暖房を設置しても、折角の床暖房の熱の30%は床下に逃げてしまい、温まりにくだけでなく、電気代も無駄になってしまいます。



左の写真は、新入社員の中谷君が床下に潜って断熱材を施工しているところです。床下での作業は大変ですが、隙間なく断熱材を施工しないと意味がありませんので、丁寧に行っています。

また、仕上げのフローリングは床暖房の熱によって変形してしまうので、必ず床暖房対応のフローリングを採用します。ウッドワンの無垢フローリング材は素足でも気持ちの良いフローリングですので、床暖房の際にはよく採用しています。リフォームに併せて、しっかりした断熱改修を行った現場では、施工後サーモカメラで写真を撮ってみると(左下写真)と床から天井までの温度差が殆ど無く、床暖房で快適な室内となっていることが分かりました。



以上のように、断熱改修に併せて床暖房を採用するのが効果的ですので、寒がりの方にはおススメです。実際に体感されたい方には施工した現場をご案内できますので、お気軽にご一報下さい。

先日も、気管支を患っておられるN様宅にこの電気式床暖房を設置しました。完了の確認にお邪魔すると既に使っておられ「寒くなるのが楽しみ！」なんて驚きのコメントをいただきました。（啓）



